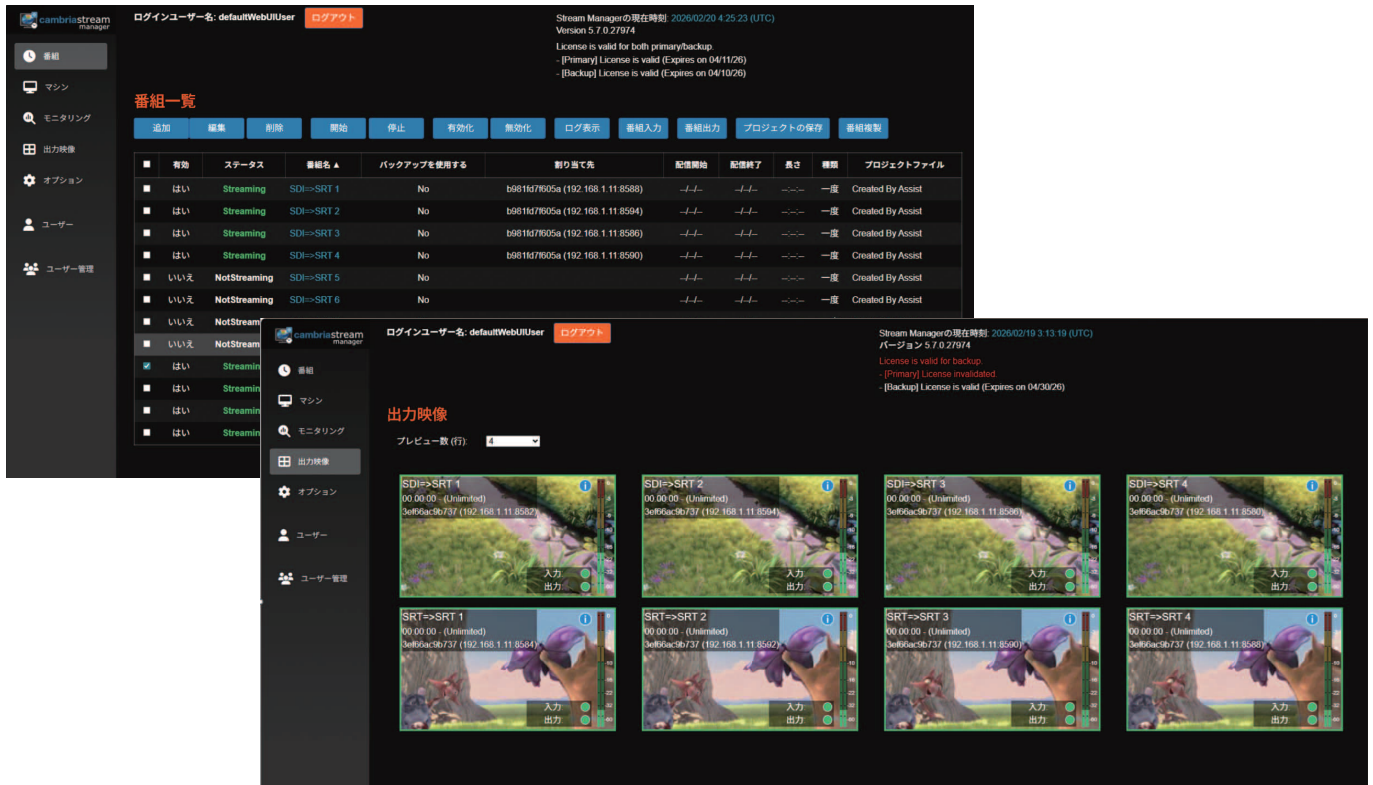


ライブエンコーダー

CAMBRIA STREAM



Cambria Streamは、クラウド上で多チャンネル・長期間安定配信を実現する為に開発されたCapella Systemsの新しい製品ラインで、Linuxベースのソフトウェア・ライブエンコーダーです。REST APIによる柔軟なシステム連携に対応し、拡張性の高いエンコードエンジンを搭載。クラウドだけではなくオンプレミスでの運用、さらにオンプレミスとクラウドを組み合わせたハイブリッド構成も可能です。

各配信番組の制御、監視は全てCambria Stream ManagerのWeb UIで行います。

主な機能

- Web UI、REST API（外部システムからの制御）
- 自動スケール、冗長化、ダイナミックスワップ
- 複数の配信ターゲットへの同時配信・同時録画
- SCTE35/104、ARIB STD-B39をトリガーとした広告及びスレート挿入
- Cambria Ad Break Controller を使用した手動広告及びスレート挿入
- 高度な音声トラックマッピング
- Grafana Lokiダッシュボードとの連携

オンプレミスでの運用を希望される場合は、配信チャンネル数、ワークフローに最適なサーバーをご提案します。

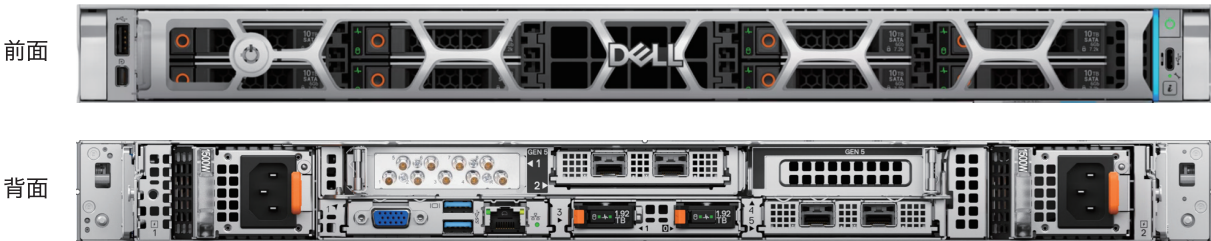
SDI×1、SDI×4 入力対応の小型サーバー

1チャンネル対応のSuperMicro社製小型サーバーです。SDI入力は×4も選択可能ですが、配信可能な最大チャンネル数は、ABRのビットレートラダーなどエンコード負荷によって2～3チャンネルが上限となります。



最大、SDI×8入力対応の 1Uラックマウントサーバー

SDI入力は×1、×4も選択可能で、配信チャンネル数、ABRのビットレートラダーなど、想定されるワークフローに最適なサーバースペックをご提案します。



長期的なコストメリット

Capella Systemsのソフトウェアライセンスは買い切り方式ですので、機器更新時はハードウェアのみの更新で済むほか、オンプレミスを廃止してクラウドに移行する事も可能ですので、ソフトウェアに対する初期投資が無駄にならず、長期的に大幅なコスト削減が可能です。

対応フォーマット

入力	フォーマット	SDI, RTMP, Zixi, HLS-TS
	コンテナ	F4V/FLV, MP4, MPEG-1 PS, MPEG-2 (PS/TS)
	ビデオコーデック	H.264, HEVC, DV25, MPEG-1, MPEG-2, Windows Media Video
	音声コーデック	Linear PCM, MPEG-1 Layer 2, MPEG-2 AAC, Windows Media Audio
出力	フォーマット	HLS (TS/fMP4)、Single/Multi bitrate SRT、Single/Multi bitrate RTP、Single/Multi bitrate File、Single bitrate RTMP、Single bitrate Zixi、CMAF、CMAF CTE
	ビデオコーデック	H.264, HEVC*, H.264 (NVENC)、HEVC (NVENC)、HEVC (Dolby Vision Profile 5) *
	音声コーデック	AAC, HE-AAC, HE-AAC v2, Dolby Digital*, Dolby Digital Plus*

※オプションが必要です

動作環境

対応OS	Microsoft Windows 11Pro、Windows Server 2025、Linux Ubuntu24.04
推奨マシンスペック	Intel Core Ultra 5以上、16GB RAM 以上 ※ワークフロー、対応チャンネル数により要求スペックが変わりますので、導入時にご相談下さい。

●別途、設置調整費、工事費、使用済み製品の引き取り費等が必要になる場合があります。●予告なく仕様または外装の一部を変更することがあります。●カペラシステムズ製品の名称は、カペラシステムズの商標または登録商標です。●SuperMicro、Dell、その他の商品名は各社の商標または登録商標です。●画像はイメージです。